

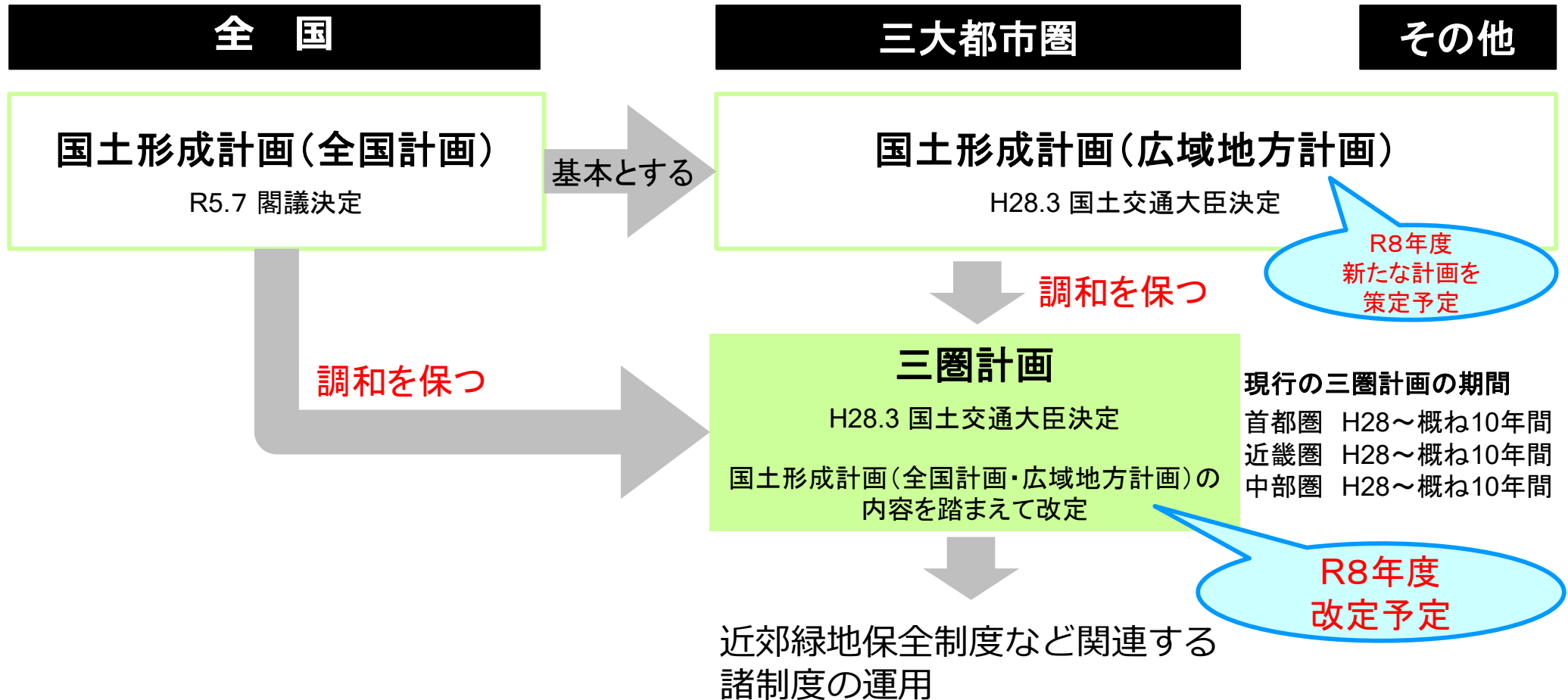
三圏計画の改定について

令和8年5月
国土交通省国土政策局

三圏計画と国土形成計画の関係

※ 三圏計画：首都圏整備計画（首都圏整備法第2条第1項）
近畿圏整備計画（近畿圏整備法第2条第2項）
中部圏開発整備計画（中部圏開発整備法第2条第2項）

- 三圏計画については、近郊緑地保全制度など関連する諸制度の運用のためにも、計画の改定が求められているところ。
- 平成17年に行われた国土計画制度の再編（国土形成計画法の制定等）において、三圏計画については「国土形成計画（全国計画・広域地方計画）と調和が保たれたものでなければならない」とされている。



三圏計画の改定について

※1 三圏計画：首都圏整備計画（首都圏整備法第2条第1項）
 近畿圏整備計画（近畿圏整備法第2条第2項）
 中部圏開発整備計画（中部圏開発整備法第2条第2項）

- 昭和30年代、大都市圏における人口集中・過密問題を背景に、**都心部への人口・産業の集中を抑制し、圏域内での無秩序な市街化の抑制や受け皿の整備を推進**するため、**大都市圏整備法が制定**。同法に基づき、**大都市圏の三圏計画※1**を策定。
- 平成17年に行われた国土計画制度の再編（国土形成計画法の制定等）において、**三圏計画については「国土形成計画（全国計画・広域地方計画）と調和が保たれたものでなければならない※2」と**されている。
- このため、**次期広域地方計画の検討内容を踏まえつつ、同計画と三圏計画が同時決定できるように、改定を行う。**

※2：首都圏整備法第21条第1項、近畿圏整備法第8条第2項、中部圏開発整備法第9条第2項

三圏計画の関連制度（首都圏の例）

首都圏整備計画（国土交通大臣決定）
計画期間：平成28年度～概ね10年間

計画の実施

政策区域

計画の実施にあたり、既成市街地とその機能を分散する受け皿となる地域といった各圏域内の役割分担のため指定する区域。

主な支援制度等

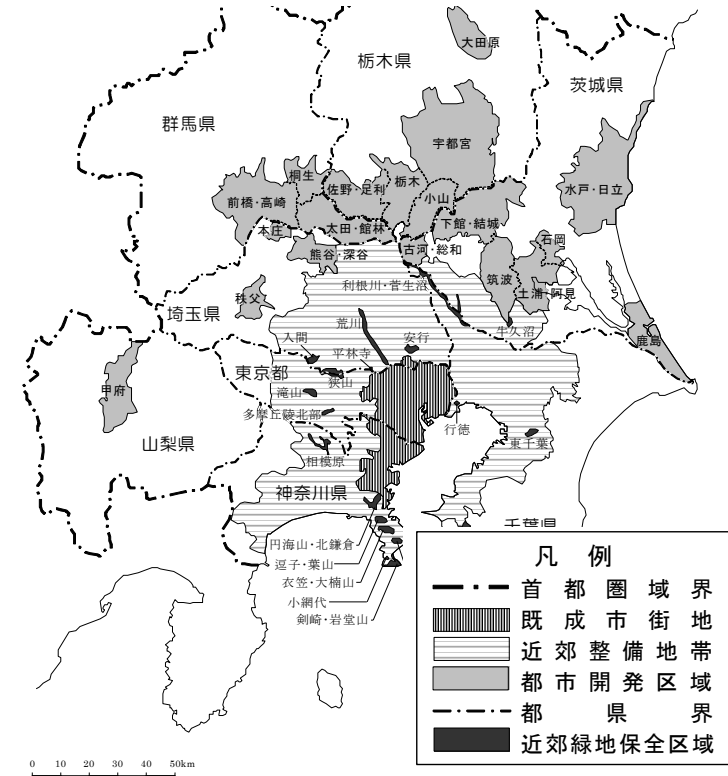
工業団地造成事業 首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律
直近事例：茨城県（令和6年度～）
 整備計画が策定されている近郊整備地帯又は都市開発区域でのみ、工業団地造成事業を都市計画事業として実施可能。

近郊緑地保全制度 首都圏整備法施行令第8条第1項、首都圏近郊緑地保全法第3条第1項
直近事例：神奈川県横浜市・鎌倉市（平成18年度）
 整備計画に「近郊緑地の保全に関する事項」を定めることとなっており、新規指定や区域変更は整備計画を踏まえて行う必要。

首都圏白書 首都圏整備法第30条の2
毎年度
 整備計画の実施状況について、毎年度、国会報告することが必要。






実施状況に関する
 国会報告

首都圏における政策区域の指定状況



三圏計画改定案(首都圏・近畿圏・中部圏)の概要

【凡例】	6車線 4車線 2車線	整備計画路線 (未着工区間)	拠点空港
高規格道路 (供用中)	●●●●●●	リニア中央新幹線 (建設中区間)	地方管理空港
高規格道路 (事業中)	●●●●●●	リニア中央新幹線 (未着工区間)	その他の空港
高規格道路 (調査中)	●●●●●●	基本計画路線	国際戦略港湾
既設新幹線	—●—●—●		国際拠点港湾
整備計画路線 (開業区間)	—●—●—●		重要港湾

計画名	首都圏整備計画(改定案)	近畿圏整備計画(改定案)	中部圏開発整備計画(改定案)
計画対象区域	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県及び山梨県の区域 	福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県の区域 	富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県及び滋賀県の区域 
将来像	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際空港・港湾など広域的な交通ネットワークが整備され、ヒト・モノ・カネ・情報が集積。 世界の中での我が国の首都圏の地位低下、都市と地方部の人口の地域偏在など、首都圏民による危機感の共有と取組への共感から始める参加・貢献が求められている。 <p>将来像</p> <p>危機感の国民的共有に基礎を置き、日本と地球の重要課題に果敢に立ち向かおう ～対流型首都圏の更なる深化へ～</p>	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工技術等のものづくり分野の強みをいかし、医薬品製造出荷額が関東と同水準であるなど、医薬品、再生医療等の拠点が集積。 都心部から離れた地域など、生活サービスの維持に向けた取組が求められている。 <p>将来像</p> <p>KX (Kansai Transformation) ～まじわり、つながる、変革する関西～</p>	<p>現状・課題 太平洋側</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送用機械の製品出荷額が全国シェアの半分を占めるなど、ものづくり拠点として経済発展に寄与。 都心部は、東京圏・大阪圏と比べ、居住面積が広いなど生活環境にゆとりがある一方で、中山間地域等において生活サービスの維持に向けた対応が必要。 <p>将来像</p> <p>生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏</p> <p>現状・課題 日本海側</p> <ul style="list-style-type: none"> 三大都市圏とのアクセス性に優れ、豊富な水資源を有しており、電子部品・デバイス関連の産業が立地。 中山間地域での過疎化等が進行。また、能登半島地震からの創造的復興等が求められている。 <p>将来像</p> <p>住み心地・居心地よく、多彩な魅力を生かして躍動する北陸</p>
施設の整備計画	<p>狭山近郊緑地保全区域</p> <p>東京都(東村山市,東大和市,武蔵村山市,瑞穂町) 埼玉県(所沢市,入間市)</p> <p>広域的な視点で自然環境の保全活用を進めていくため、丘陵に関わる産官学民の広域連携体制が構築されており、各種イベントや保全活動等が実施されている。</p>  <p>NPO birth 提供</p>	<p>西神第4地区工業団地造成事業</p> <p>神戸市(R5～)</p> <p>神戸西IC(山陽自動車道(木見支線)・神戸淡路鳴門自動車道)に近接し、交通アクセスに優れた拠点である。</p> <p>流通業務施設地区とあわせ、製造工業等施設地区の整備を実施している。</p>  <p>神戸市 提供</p>	<p>世界をリードする産業進化プロジェクト</p> <p>ものづくり地域の電力源を転換する水素・アンモニアサプライチェーンの形成</p> <p>(例)商用火力発電所における燃料アンモニアへの転換(愛知県碧南市)</p>  <p>(株) JERA</p>